

第3学年 社会科学習指導案

平成26年11月27日（木）5校時

仙台市立東二番丁小学校

指導者 教諭 武田 直樹

場所 3年1組 教室

1 小単元名 農家の仕事

2 単元の目標

地域には農作物の生産に携わる仕事があり，自分たちの生活を支えていることや，これらの仕事に見られる特色，他地域とのかかわりなどを理解するとともに，農家の仕事と自分たちの生活とのかかわりを考えようとする。

3 単元の評価基準

| 社会的事象への 関心・意欲・態度 | 社会的な 思考・判断・表現 | 観察・資料活用の 技能 | 社会的事象について の知識・理解 |
|--|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・地域の人々の生産や販売の仕事の様子に関心を持ち，意欲的に調べている。・地域の人々の生産や販売の仕事と自分たちの生活とのかかわりを考えようとしている。 | <ul style="list-style-type: none">・地域の人々の生産や販売の仕事の様子について，学習問題や予想，学習計画を考え表現している。・地域の人々の生産や販売の仕事の工夫を自分たちの生活と関連付けて考え適切に表現している。・調べたことを基にして，農家の工夫の意味やそれに込めた思いを考える。 | <ul style="list-style-type: none">・観点に基づいて見学したりや話を聞いたりすることで農家の工夫について調べることができる。・資料を活用して，地域の人々の生産や販売の仕事の様子について必要な情報を集め，読み取っている。・調べたことをグラフや白地図などにまとめている。 | <ul style="list-style-type: none">・地域には生産や販売に関する仕事があり，それらは自分たちの生活を支えていることを理解している。・地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特徴を理解している。 |

4 単元（題材）について

（1）教材観

本単元は，学習指導要領内容の（2）「地域の人々の生産や販売について，次のことを見学したり調査したりして調べ，それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする。」のア「地域には生産や販売の仕事があり，それは自分たちの生活を支えていること。」に基

づいて構成している。

本学区は都市部に位置し、学区内に田畑が少ない。生活の中で農業とのかかわりが薄い本学級の児童にとって、本単元は農家の人々の仕事を具体的に知り、自分たちの生活との結びつきを理解する貴重な学習の場となる。単元を通して、学習の観点を以下のように明確にして見学させたり、考察させたりすることで、農家の仕事への理解を深めていきたい。学習の観点・気付かせたいこと

1 「育てる工夫」

- ・生ごみともみ殻からたい肥を作るなど土づくりを工夫していること
- ・虫がつかないように農薬をまいていること
- ・畝づくりをして日が当たる面積を増やすこと
- ・小規模な畑で複数の野菜を作る工夫
- ・ビニールハウスを用いることで多種類の野菜を育てること
- ・トラクターなどの農機具を使うことで、農作業の負担が減ること

2 「農家の人の一日・一年」

- ・季節に合わせてつくる作物を変えていること
- ・一日・一年の作業と苦勞

3 「食べる人とのつながり」

- ・朝にとれたものを直売している工夫
- ・お客さんの必要な量、必要な種類を届けるための工夫
- ・商店に卸さず直接お客さんに売る理由

(2) 児童観

男5名、女10名、計15名の学級である。男子は活発な児童が多く、女子は真面目でしっかりしている児童が多い。前期の学習では、休み時間にスーパーマーケットのまとめ冊子作りをするなど、社会科の学習に意欲的に取り組んでいる児童が多い。

社会の授業においては、考えたこと・気付いたことや、自分の生活経験とのかかわりを積極的に話すことができる児童が多い。しかし、全体の間では中々発言できない児童も2名いる。また、社会科のグループ学習などで、自分の意見は伝えられるが、相手の意見には関心を持って聞くことができない児童もいる。社会科の授業の中で、社会的事象を多角的にとらえさせ、相手の考えと自分の考えの違いを知ることで、話す意欲と共に聞く意欲も育てていきたい。

(3) 指導観

1学期には「仙台市の地図を作って登米市の小学生に紹介する活動」や「スーパーの秘密を冊子にまとめて図書室に飾る活動」など、学んだことをグループで再思考し、表現する活動を単元のゴールとして設定してきた。また、単元全体の流れや1単位時間ごとの意

味なども毎時丁寧に説明をし、見通しを持たせてきた。単元のゴールと学びの見通しを持つことで、それぞれの時間に「何のために」「何を学ぶのか」が明確になり、意欲的に学習に取り組むことができた。本単元においても「野菜のおいしさの秘密をポスターで作り、校内の友達に知らせる」という単元のゴールを意識させ、児童の意欲を高めていきたい。

本単元では『私たちのまち仙台』に記載されている庄司氏の野菜作りを中心に農家の工夫や思いを学習していく。単元の導入部では、まずはスーパーで売られている写真や給食の野菜などを通じて、スーパーなどに流通している一般的な野菜についての生活経験をたっぷりと語らせたい。その上で実際に庄司さんのつくった野菜を見せたり、資料を使って振り売りをしている様子を紹介したりすることで、自分たちが普段見ているスーパーなどの野菜との違いに気付かせて、庄司さんの野菜作りについて知りたいという思いを膨らませて学習課題を作っていく。

次に、学習課題を解決するために庄司氏の畑を見学をする。学ぶ観点を庄司氏にも事前に伝え、それに関する話をしていただいたり、農作業を見せていただいたりできるように工夫していきたい。

見学後には学んだことを観点ごとに分類して、一つ一つ丁寧に振り返ることで農家の方の様々な工夫とその意味を実感のある理解に深めさせていきたい。

単元の終末部ではポスター作りを通して、農家の方の工夫について一人一人が再思考をし、表現できるようにしていきたい。

また、単元末では教科書を活用して、庄司氏の野菜づくりと比較することで、スーパーなど販売される一般的な流通と農業のよさ（メリット）についても学習させていきたい。

5 指導と評価の計画（12時間扱い 本時 10/12）

| 次 | 時間 | ねらい | 学習活動 | 評価規準（評価方法） |
|---|----|--|--|--|
| 1 | ① | 庄司氏の野菜をスーパーの野菜と比べたり、食べたりすることで、庄司さんの野菜づくりについて関心を持つ。 | <ul style="list-style-type: none"> スーパーの野菜売り場の写真と実際の野菜、庄司さんの振り売りの写真と実際の野菜を比べる。 庄司さんの野菜を食べ、おいしさを実感する。 | 【関】野菜について自分の考えたこと感じたことを、関心を持って話したり、書いたりしている。（行動観察） |
| 2 | ② | 農家の仕事についての学習問題を作る。 | <ul style="list-style-type: none"> 調べたいことをワークシートに書き出し、学習問題を作る。 | 【思】農家の仕事に関心を持ち、づくり方に注目して学習問題を考えている。（ワークシート） |
| | | 庄司さんの野菜づくりはどうやっておいしい野菜を作っているか。 | | |

| | | | | |
|---|---------|--|---|---|
| 3 | ③ | 農家の仕事について見学して調べたいことを整理し、見学の計画を立てる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・農家見学のときにする質問について考える。 ・教科書で見学の仕方を知る。 | 【関】野菜づくりについて調べたいことを進んで見つけようとしている。(発表) |
| 4 | ④⑤ ⑥ | 農家の仕事について野菜農家である庄司さんの畑を見学して野菜づくりについて調べ、それらをワークシートに分かりやすく整理をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・野菜農家を見学し、農家の仕事について観察したり、質問したりして調べる。 ・畑や農作業の様子 ・農機具、機械 ・季節ごとの作業の違い ・一日の作業の流れ ・収穫と出荷の工夫 | 【技】農家の仕事の特徴について観察したり、質問したりして調べ、ワークシートに分かりやすく整理している。(ワークシート) |
| 5 | ⑦⑧ ⑨ | 調べたことを各観点に基づいて整理し、おいしい野菜をつくるための農家の工夫に気付き、理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・見学をして気付いたことを観点ごとグループ分けをして、まとめ、発表する。 ・それぞれの工夫への庄司さんの思いを吹き出しの中に書かせるようにする。 | 【知】おいしい野菜をつくるためには農家の方の工夫があることを知る(ワークシート・発表) |
| 6 | ⑩ 本時 | 農家の工夫とその意味や大切さ、工夫に込めた思いを考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・農家の工夫の意味や大切さを振り返り、農家の願いに気付き、ポスターにして伝えたいことを考える。 | 【思】農家の人たちの工夫とその意味について考える(発表) |
| 7 | ⑪ | 移動販売車に掲示してもらうポスターを農家の工夫を振り返って作成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・庄司さんのお客さんに庄司さんの野菜づくりがどんな野菜作りか伝わるように、学習を振り返って「おいしい野菜をつくるための農家の工夫」をポスターにまとめる。 | 【思】農家の仕事について分かったことや考えたことをポスターにまとめている |
| 8 | ⑫ | スーパーで売られている野菜と庄司さんの野菜づくりとの比較を通して、一般的に流通している農作物のよさに気付く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教科書のまがりねぎ農家の仕事を読み、庄司氏の野菜づくりとの共通点・相違点を考える。 ・スーパーでの学習を振り返ったり、教科書を参考にしたりして、他地域の生産者とのつながりを考える。 | 【知】スーパーなどに流通している農作物をつくっている農家の工夫を理解する。 |

6 本時の指導

(1) ねらい

本単元の学習を振り返り，農家の人たちの工夫とその意味や大切さ，工夫に込めた思いについて考える。

【社会的な思考・判断・表現】

(2) ねらいに迫るための手だて（本研究授業の提案）

- ①農家の工夫の意味と思いを自分なりに考えられるように発問を精選する。
- ②これまでの学習を振り返り，考えを深め合えるように意見交流の方法を工夫する。

(3) 本研究の授業技術課題

- ・資料の活用を促したり，補助発問をしたりするなど話し合いを深めるための適切な支援をする。

(4) 指導過程

| 段階 | ○主な学習活動 | 予想される児童の反応 | 指導上の留意点・評価 |
|--------------------------|--|---|--|
| 導入 3分 | ○説明を聞き，本時の單元における位置付けとねらい，授業の流れをつかむ。 | ・これまでの学習を振り返りながら話を聞いている。 | ・移動販売車にポスターにして掲示してもらおうというゴールを改めて意識させる。 |
| 課題 庄司さんの野菜づくりで伝えたいことを考える | | | |
| | ○グループを作り，意見を交流する（ワールドカフェ） | | |
| | 1回目の意見交流（拡散） 問い 「庄司さんの野菜づくりで伝えたいことは何か。」 メンバー 各学習班の同じ番号で集まり，グループを作る 時間 7分 | 意見交流の仕方 ①全部で3回の意見交流を行う。各回は，異なるメンバーと意見交流をする。 ②各回で話合うこと（問い），時間，メンバー，役割の管理は担任が行う。 ③話したことは机上の模造紙にメモをする。 | |
| | 庄司さんの野菜づくりについてポスターにして伝えたいこ | ・今までの学習を振り返りながら自分なりの考えを書いて | ・書けない児童には今までの資料 |

| | | | |
|---|---|---|--|
| <p>展開 1 10分</p> | <p>とは何ですか。一人で考えできるだけたくさん付箋に書きましょう。」 「今考えたことをグループで交流します。交流の時に聞いたことや考えたことはテーブルに置いてある模造紙にどんどん書いていきます。他の人の意見を書いてもいいです。」</p> | <p>いる。 「新鮮。」 「朝にとってすぐ届ける。」 「安全な野菜。」 「いろいろな種類の野菜をつくっている。」 「トラックで売りに行く。」 「たい肥を工夫している」</p> | <p>を参考にして考えるよう個別指導する。 ・話合いが滞っているグループには、これまでのワークシートなど資料活用を促したり、補助発問をしたりして支援をする。</p> |
| <p>2回目の意見交流 問い 「庄司さんの野菜づくりで伝えたいことは何か。」 メンバー 1ラウンドと異なるメンバーでグループを作る。</p> | | | |
| <p>展開 2 9分</p> | <p>「グループを変えて意見の交流をします。」 「庄司さんの野菜づくりで伝えたいことは何ですか。」</p> | <p>・先のグループで考えたことを伝えたり、新しいグループの友達と意見交流する中で新たな意見に気付いたりしている。</p> | |
| <p>展開 3 6分</p> | <p>「一番伝えたいことは何ですか。短冊に書きましょう。」</p> | <p>・「お客さんが喜んでいたので新鮮さかな。」 ・「庄司さんがつくっているから安心して書いてあるよ。」 ・「まがりねぎの育て方かな。」</p> | <p>・短冊に書かれた言葉とその理由を机間指導で確かめていく。</p> |
| <p>3回目の意見交流 問い 「庄司さんの野菜づくりで一番伝えたいことは何か。」 メンバー 学習班 時間 7分</p> | | | |
| <p>展開 3</p> | <p>今書いた庄司さんの野菜づくりで一番伝えたいことを教え</p> | <p>・「一番伝えたいことは土づくりです。もみ殻を入れてに</p> | <p>【思】 これまでの学習を振り返り、</p> |

| | | | |
|--------------|--|---|--|
| 9分 | 合いましょう。どうして選んだのかも伝えましょう。そして、こここのこんなところからも言えるよ、という付け足しの意見をお互いに伝え合いましょう。 | おわないように工夫していたので土づくりにしました。 「残菜を基にたい肥を作ったりするのも土づくりに含まれるんじゃないかな。」 「機械を使って冬の間もお世話をするのも土づくりだよね。」 | 農家の人たちの工夫とその意味や大切さ、思いについて考え、友達に伝えている。 (様子の観察) |
| 終末 7 分 | ○短冊に書いたことを発表する。 | ・自分と同じ所や違う所を考えながら聞いている。 | ・教師が意図的使命感をし、短冊を類型化しながら黒板に張り出していく。 |

(5) 評価

| | |
|----------|--|
| 具体的評価基準 | 学習してきたことを根拠に、農家の人たちの工夫とその意味や大切さ、工夫に込めた思いに自分なりに考えて友達に話している。 |
| A と判断する姿 | 学習してきたことを複数の事実を結び付けたり、友達の意見を参考にしたりしながら、農家の人たちの工夫とその意味や大切さ、工夫に込めた思いに自分なりに考えて友達に話している。 |
| C への手だて | 本単元で使用したワークシートを綴じておき、それを参考にしながら担任と一緒に個別に学習を振り返る。 |

(6) 板書計画

